



《舞妓》1960年代 / 泉美術館蔵

# 石本 正

絵をかく  
よろこび

2018年10月6日|土|⇒11月18日|日|

開館時間 / 10:00~17:00 (入館は16:30まで) 休館日 / 月曜日 (10月8日は開館)  
入館料 / 一般500円、学生250円、中学生以下無料

【主催】公益財団法人泉美術館、中国新聞社 【後援】広島県教育委員会、広島市、広島市教育委員会、中国放送、広島テレビ、広島ホームテレビ、テレビ新広島、広島エフエム放送、FMちやーびー76.6MHz 【協力】浜田市立石正美術館

Ishimoto Sho

# Ishimoto Shō

## 石本 正 絵をかく よろこび

会期 2018年10月6日(土)⇒11月18日(日)

日本画家 石本正(1920~2015)は、鳥根県那賀郡岡見村(現浜田市三隅町岡見)に生まれ、20代からは京都を拠点に活躍しました。特に、1960~70年代の舞妓や裸婦を主題とした作品は、従来の日本画にない新たな人物表現を生み出したとして高く評価されました。

戦後日本画壇を代表する画家となるも石本は地位や名声を求めず、画は技術ではなく「心で描く」という姿勢を貫きました。自身の「感動する心」によって生まれる描きたいものを徹底的に描き、晩年まで命を燃やすように制作に没頭しました。「画を描くのは楽しい。それは生きる喜びでもある。」という言葉は、画道ひとすじに生きた95年の人生を象徴しています。

本展では、生涯描き続けた舞妓像をはじめ、2001年に故郷に開館した「浜田市立石本美術館」ご所蔵の晩年の作品とともに、石本芸術のエッセンスをご紹介します。



(紅装)1967年/今井美術館蔵



(蘭画)2008年/浜田市立石本美術館蔵



(瘦林)2012年/浜田市立石本美術館蔵



(黒水鶏)2012年/浜田市立石本美術館蔵



(舞妓)1978年/鳥根県立石本美術館蔵

### 関連催事 催事はいずれも参加無料・予約不要(要入館券)

●講演会  
「石本正・美を追い求めた生涯」  
講師: 横山 由美子(浜田市立石本美術館学芸員)  
10月28日(日) 14:00~15:30 会場/泉美術館

●当館学芸員による展示解説  
10月8日(祝)、20日(土)、27日(土)、  
11月3日(祝)、11日(日)、17日(土)  
全日14:00~(約30分)



■ JR山陽本線「新井口駅」から徒歩約10分 または、アルパークバス(スロータリーより)「LECT行き」乗車、「商工センター2丁目」下車徒歩1分  
■ 広電宮島線「草津南駅」から徒歩約7分 ■ 駐車場無料

公益財団法人

## 泉美術館

〒733-0833 広島市西区商工センター2-3-1  
エクセル本店5階  
TEL 082-276-2600 FAX 082-276-2612  
HP <http://www.izumi-museum.jp/>